


 シラバス参照

タイトル「2014年度 教育学研究科シラバス」、フォルダ「2014年度 教育学研究科シラバス-学校心理専攻」  
シラバスの詳細は以下となります。  
ナンバリングは科目コードとは異なります。ご注意ください。

ナンバリングとは



科目コード	12111052		
科目名	臨床心理学フィールド研究(a)		
担当教員	大河原 美以 佐野 秀樹 松田 修 福井 里江 松尾 直博 及川 恵		
対象学年	1年	クラス	01
講義室		開講学期	秋学期
曜日・時限	時間外	単位区分	選必
授業形態	一般講義	単位数	2
受講対象	学校心理専攻学校心理コース自専攻教育実践研究法、学校心理専攻臨床心理コース自専攻教育実践研究法		
備考			
ナンバリング			
ねらいと目標	実習や現場経験について、教員から指導を受けることで実際の知識を得る。		
内容	大学院生が現場でおこなう実践に対する指導を受け、それについてのレポートを作成する。また、現場における課題を明確にし、課題解決のための知識、技術を身につける。		
テキスト	特に指定しない		
参考文献			
成績評価方法	フィールドワークへの参加とその経験について総合的に評価する。		
授業スケジュール(展開計画)	年度はじめに、臨床心理基礎実習と同じ時間にオリエンテーションを行なう。掲示板等で日時を確認すること。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	フィールド実践と指導1	
	3	フィールド実践と指導2	
	4	フィールド実践と指導3	
	5	フィールド実践と指導4	
	6	フィールド実践と指導5	
	7	フィールド実践と指導6	
	8	フィールド実践と指導7	
	9	フィールド実践と指導8	
	10	フィールド実践と指導9	
	11	フィールド実践と指導10	
	12	フィールド実践と指導11	
	13	フィールド実践と指導12	
	14	フィールド実践と指導13	
15	フィールド研究の成果報告		
授業のキーワード			
受講補足(履修制限等)	指導教員の指導の下に、臨床心理の実習などをおこなっていること。		

その他

必ず、オリエンテーションに参加すること。



Copyright(C) 2013 NTT DATA KYUSHU Co.,Ltd All rights reserved.




## シラバス参照

タイトル「2014年度 教育学研究科シラバス」、フォルダ「2014年度 教育学研究科シラバスー学校心理専攻」  
シラバスの詳細は以下となります。  
ナンバリングは科目コードとは異なります。ご注意ください。

### ナンバリングとは



科目コード	12111053		
科目名	発達臨床心理学フィールド研究(a)		
担当教員	橋本 創一 林 安紀子 大伴 潔		
対象学年	1年	クラス	01
講義室		開講学期	春学期
曜日・時限	金2	単位区分	選必
授業形態	一般講義	単位数	2
受講対象	学校心理専攻学校心理コース自専攻教育実践研究法、学校心理専攻臨床心理コース自専攻教育実践研究法		
備考			
ナンバリング			
ねらいと目標	保育所・幼稚園、小学校、特別支援学校の育児・保育・教育現場での幼児・児童の保育カウンセリング・学校カウンセリングと発達支援・教育支援について学ぶ。 発達(教育)支援の実践や特別なニーズのある幼児児童(気になる子ども等を含む)の保育・教育相談、育児支援、学校カウンセリング、子ども理解、支援方法について、講義と演習形式で学習する(実習含む)。		
内容	内容は、保育育児フィールド、小学校や特別支援学校などの教育フィールドでの支援と、そこでの実践に必要なとされる理論(育児・教育フィールドでの子どもの発達とその援助など)、アセスメント、支援方法、教材・教具、支援記録、ケースカンファレンス、子どもや保護者との面接相談、カウンセリングやコンサルテーションの実践について、理論と実践について講義・演習・実習から学修する。特にカウンセリングについては、陪席・グループ学習・ロールプレイング・包括的な実習をおこなう。		
テキスト	テキストは使用しない。講義中にプリントを配布する。		
参考文献	『育児・保育現場での発達とその支援(ミネルヴァ書房)』『学校心理士の実践:幼稚園・小学校編(北大路書房)』『発達障害支援ハンドブック(金子書房)』		
成績評価方法	出席状況[40%]、討議[10%]、レポート(学期末など)[50%]によって総合的に評価する。		
	教育実践研究支援センター「相談室」と附属特別支援学校「地域教育相談活動」の場において、講義と臨床実習(観察・把握・傾聴・カウンセリング・かかわり・援助など)をおこなう。①～⑩の実習では、アセスメント、観察法、面接法、子ども・保護者のカウンセリング(傾聴・かかわり・省察など)、育児・保育・教育フィールド(幼稚園・保育所・小学校、相談機関など)の理解、ケースカンファレンス、記録のつけ方を随時おこなう。陪席、グループ実習、ロールプレイング、基本的なかかわり方・傾聴の実習などを実施。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション(講義・実習・演習の概要) [育児・発達・教育の相談支援とカウンセリングの実践] ※教育実践研究支援センター2号館1階会議室※	
	2	支援フィールド(育児・保育・教育)の援助活動の実践 [支援の理論的背景、アセスメント、支援方法、保護者(育児の悩み)、子ども(発達・心理社会・学習・進路・健康の問題)、カウンセリング技法、コンサルテーション、コーディネートについて講義する]	
	3	①子どもの支援ニーズの把握[かかわりづくり・傾聴・省察](観察や知能・発達検査・心理検査の理解、かかわり技法、基本的な傾聴技法、観察・省察などの実習)	
	4	②子どもへの支援・カウンセリング (言語・非言語的な手がかりによる援助技法、構成的グループエンカウンター、ロールプレイングなどの実習)	
	5	③子どもへの支援・カウンセリング (言語・非言語的な手がかりによる援助技法、構成的グループエンカウンター、ロールプレイングなどの実習)	

授業スケジュール(展開計画)	6	④子どもへの支援・カウンセリング (傾聴、質問、指示、はげまし、感情理解、行動理解などの技法などの実習)
	7	⑤子どもへの支援・カウンセリング (遊戯療法、応用行動分析やインリアル法、発達的な援助技法・かかわり技法など)
	8	⑥子どもへの支援・カウンセリング (遊戯療法、応用行動分析やインリアル法、発達的な援助技法・かかわり技法などの実習)
	9	⑦保護者との面接法 (相談内容、支援ニーズ、家庭・育児・進路の悩み、基本的なマナーと技法、記録のとり方、保護者を交えたエンカウンターなどの実習)
	10	⑧保育・教育フィールドの理解[コーディネーション] (関係機関や関係者、育児現場・教育現場の実際、支援者の専門性、進路などを面談実習から学ぶ)
	11	⑨コンサルテーション (発達や教育における専門的な相談支援の実際を面接時相談の模擬実習で学ぶ)
	12	⑩保育・教育の記録のつけ方 (実践記録、保護者・関係機関への報告書、個別の指導計画・支援計画、自己評価などに関する講義)
	13	⑪ケースカンファレンス (プロセスの振り返り、自己評価、ケース会議・校内委員会の運営、コーディネーション、教育評価、関係者との話し合いの実習)
	14	カウンセリング・コンサルテーションの実践上の課題 (支援対象の姿と諸問題、支援者らの専門性と連携などの講義)
	15	まとめ (育児・保育・教育フィールドの問題、支援が必要な人たちのフィールド実態、支援システム、キャリア支援に関する講義)
	授業のキーワード	相談支援活動、カウンセリング、育児支援、子ども理解、面接法、行動観察、発達支援、育児・保育・教育フィールド、特別な支援を必要とする子ども
受講補足(履修制限等)	(*注意*)附属特別支援学校(東久留米市)における臨床実習が主な授業となる。従って、授業時間外の臨床活動もおこなう。オリエンテーションを授業開始日/時間におこなう(教育実践研究支援センター2号館の1階会議室)。その際に、授業への参加方法(講義内容と臨床実習など)について相談します。	
その他		




[シラバス関連](#) > [シラバス参照](#) > [シラバス検索](#) > [シラバス一覧](#) > [シラバス参照](#)
[Login: User](#) 学務課 証明書発行  
1

タイムアウトまでおよそ1時間59分50秒です。



 シラバス参照

タイトル「2014年度 教育学研究科シラバス」、フォルダ「2014年度 教育学研究科シラバス-学校心理専攻」

シラバスの詳細は以下となります。

ナンバリングは科目コードとは異なります。ご注意ください。

ナンバリングとは



科目コード	12111026		
科目名	臨床心理基礎実習 I (a)		
担当教員	佐野 秀樹 大河原 美以 松田 修 福井 里江 松尾 直博 及川 恵		
対象学年	1年	クラス	01
講義室		開講学期	春学期
曜日・時限	時間外	単位区分	選択
授業形態	一般講義	単位数	1
受講対象	学校心理専攻学校心理コース学校心理専攻開設科目、学校心理専攻臨床心理コース学校心理専攻開設科目		
備考			
ナンバリング			
ねらいと目標	臨床心理士として求められる、必須の基礎的な面接技術の習得のための学習を行なう。		
内容	各種面接技法、心理療法についてのロールプレイ、マイクロカウンセリングなどの体験、ケースカンファランスへの出席、面接への陪席などを行なう。		
テキスト	使用しない。		
参考文献	特に指定しない。		
成績評価方法	実習への参加、実習への意欲や姿勢などを評価する。		
授業スケジュール(展開計画)	4月15日10:30から12:00までのオリエンテーションで説明する。		
授業のキーワード			
受講補足(履修制限等)	臨床心理基礎実習 I・II の受講は、臨床心理士大学院指定制度に指定されているコースの学生と学校心理士資格受験希望者に限られている。 その他、実習という授業の性質上、基本的に欠席は認めない。やむを得ない事情で欠席する場合は、必ず連絡すること。		
その他			






## シラバス参照

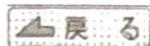
タイトル「2014年度 教育学研究科シラバス」、フォルダ「2014年度 教育学研究科シラバスー学校心理専攻」シラバスの詳細は以下となります。  
ナンバリングは科目コードとは異なります。ご注意ください。

### ナンバリングとは



科目コード	12111027		
科目名	臨床心理基礎実習Ⅱ(a)		
担当教員	佐野 秀樹 大河原 美以 松田 修 福井 里江 松尾 直博 及川 恵		
対象学年	1年	クラス	01
講義室		開講学期	秋学期
曜日・時限	時間外	単位区分	選択
授業形態	一般講義	単位数	1
受講対象	学校心理専攻学校心理コース学校心理専攻開設科目、学校心理専攻臨床心理コース学校心理専攻開設科目		
備考			
ナンバリング			
ねらいと目標	臨床心理士として求められる、必須の基礎的な面接技術の習得のための学習を行なう。		
内容	臨床心理学に関する基礎的な知識を体得し、初歩的な経験を得る。面接技法や心理療法のロールプレイをおこなう。また臨床面接場面での実務的な面接について学ぶ。人の教員が交代で、各種のアプローチを指導する。 4月13日(水)の10:30から12:00までのオリエンテーションに必ず出席すること。学生は、各教員に示されたテキスト、参考書を必ず読んでおくこと。また、実習であるため、設定された時間以外に多くの時間を準備に使う。授業後も学習内容を定着させるために、復習することが求められる。		
テキスト	使用しない。		
参考文献	特に指定しない。		
成績評価方法	実習への参加、実習への意欲や姿勢などを評価する。		
授業スケジュール(展開計画)	臨床心理面接法、カウンセリング・心理療法の技法などの基礎を体験的に学ぶ。また、ケースカンファランスを定期的に持ち、学生の実践発表をおこなう。4月13日(水)10:30-12:00のオリエンテーションで説明される。		
	回	内容	
	1	基礎実習1	
	2	基礎実習2	
	3	基礎実習3	
	4	基礎実習4	
	5	基礎実習5	
	6	基礎実習6	
	7	基礎実習7	
	8	基礎実習8	
	9	基礎実習9	
	10	基礎実習10	
	11	基礎実習11	
	12	基礎実習12	
	13	基礎実習13	

	14	基礎実習14
	15	基礎実習15
授業のキーワード		
受講補足(履修制限等)	臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱの受講は、原則的に臨床心理士大学院指定制度に指定されている臨床心理コースの学生もしくは、学校心理士資格を希望する学校心理コースの学生が受講できる。基本的に欠席は認めない。やむを得ない事情で欠席する場合は、必ず連絡すること。	
その他	授業のスケジュールは変更される場合がある。	






## シラバス参照

タイトル「2015年度 教育学研究科シラバス」、フォルダ「2015年度 教育学研究科シラバスー学校心理専攻」  
シラバスの詳細は以下となります。  
ナンバリングは科目コードとは異なります。ご注意ください。

### ナンバリングとは



科目コード	12111028		
科目名	臨床心理実習 I (a)		
担当教員	佐野 秀樹 大河原 美以 松田 修 福井 里江 松尾 直博 及川 恵		
対象学年	1年	クラス	01
講義室		開講学期	春学期
曜日・時限	時間外	単位区分	選択
授業形態	一般講義	単位数	1
受講対象	学校心理専攻学校心理コース学校心理専攻開設科目、学校心理専攻臨床心理コース学校心理専攻開設科目		
備考			
ナンバリング			
ねらいと目標	教員の指導のもと、現場での実習経験を得る。		
内容	心理臨床の現場において、児童生徒の援助、臨床心理学アセスメント、スクールカウンセリング、医療現場などを経験し、心理の専門家としての実務を学ぶ。		
テキスト	指定しない。		
参考文献	授業で説明する。		
成績評価方法	現場実習の指導結果から、総合的に評価する。		
授業スケジュール(展開計画)	実習現場の状況、受け入れ状況などが異なるので、指導教員によってオリエンテーション、課題の設定、実習指導及び実習報告などを行う。実習は2年間にわたることもある。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	心理実習1	
	3	心理実習2	
	4	心理実習3	
	5	心理実習4	
	6	心理実習5	
	7	心理実習6	
	8	心理実習7	
	9	心理実習8	
	10	心理実習9	
	11	心理実習10	
	12	心理実習11	
	13	心理実習12	
	14	心理実習13	
15	実習のまとめ		
授業のキーワード			

受講補足(履修制限等)	履修登録は原則的に、臨床心理学コースの修士2年生に限る。実習担当教員の履修許可を必要とする。
その他	




[シラバス関連](#) > [シラバス参照](#) > [シラバス検索](#) > [シラバス一覧](#) > [シラバス参照](#)
[Login User](#) 学務課 証明書発行  
1

タイムアウトまでおよそ1時間59分57秒です。



 シラバス参照

タイトル「2015年度 教育学研究科シラバス」、フォルダ「2015年度 教育学研究科シラバス-学校心理専攻」  
シラバスの詳細は以下となります。  
ナンバリングは科目コードとは異なります。ご注意ください。

ナンバリングとは



科目コード	12111029		
科目名	臨床心理実習Ⅱ(a)		
担当教員	佐野 秀樹 大河原 美以 松田 修 福井 里江 松尾 直博 及川 恵		
対象学年	1年	クラス	01
講義室		開講学期	秋学期
曜日・時限	時間外	単位区分	選択
授業形態	一般講義	単位数	1
受講対象	学校心理専攻学校心理コース学校心理専攻開設科目、学校心理専攻臨床心理コース学校心理専攻開設科目		
備考			
ナンバリング			
ねらいと目標	教員の指導のもと、現場での実習経験を得る。		
内容	心理臨床の現場で、ケースの担当、臨床心理学アセスメント、スクールカウンセリングなど臨床心理の実際を経験し、心理の専門家としての実務について学ぶ。		
テキスト	指定しない。		
参考文献	授業で説明する。		
成績評価方法	現場実習の指導結果から、総合的に評価する。		
授業スケジュール(展開計画)	実習現場の状況、受け入れ状況などが異なるので、指導教員によってオリエンテーション、課題の設定、実習指導及び実習報告などを行う。実習の開始については、指導教員に相談すること。実習は、1年から2年の2年間に及ぶことがある。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	心理実習1	
	3	心理実習2	
	4	心理実習3	
	5	心理実習4	
	6	心理実習5	
	7	心理実習6	
	8	心理実習7	
	9	心理実習8	
	10	心理実習9	
	11	心理実習10	
	12	心理実習11	
	13	心理実習12	
	14	心理実習13	
15	実習のまとめ		
授業のキーワード			

受講補足(履修制限等)	履修登録は原則的に、臨床心理学コースの修士2年生に限る。実習担当教員の履修許可を必要とする。
その他	授業のスケジュールは変更される場合がある。




[シラバス関連](#) > [シラバス参照](#) > [シラバス検索](#) > [シラバス一覧](#) > [シラバス参照](#)
[Login User](#) 学務課 証明書発行  
1

タイムアウトまでおよそ1時間59分59秒です。



 シラバス参照

タイトル「2014年度 教育学研究科シラバス」、フォルダ「2014年度 教育学研究科シラバス-学校心理専攻」  
シラバスの詳細は以下となります。  
ナンバリングは科目コードとは異なります。ご注意ください。

ナンバリングとは



科目コード	12111049		
科目名	臨床心理面接実習 I (a)		
担当教員	大河原 美以		
対象学年	1年	クラス	01
講義室		開講学期	春学期
曜日・時限	木4	単位区分	選択
授業形態	一般講義	単位数	2
受講対象	学校心理専攻学校心理コース学校心理専攻開設科目、学校心理専攻臨床心理コース学校心理専攻開設科目		
備考			
ナンバリング			
ねらいと目標	システムズアプローチ(家族療法)のものの見方を通して、子どもの心理的問題をシステムックに見立てる視点を学ぶ。それにより、学校における保護者へのカウンセリングおよび教師へのコンサルテーションの技法を身につける。		
内容	子どもの心理的問題を家族システムおよび学校システムを加えたエコシステムックな視点から見立てるために必要な知識を講義する。学校現場における相談事例に関するシナリオロールプレイを通して、保護者へのカウンセリング及び教師へのコンサルテーションの技法を学ぶ。		
テキスト	特に定めない		
参考文献	大河原美以著 ちゃんと泣ける子に育てよう-親には子どもの感情を育てる義務がある 河出書房新社 大河原美以著 怒りをコントロールできない子の理解と援助-教師と親のかかわり 金子書房		
成績評価方法	平常点評価(出席とロールプレイ・グループ活動への参加状況)70%および最終テストレポート30%により評価する。レポートでは、実技演習を通して、自分が身につけた技法および態度についてのまとめを行なう。 レポートは、授業で学んだことを、各自の実習の中でどのように生かすことができたかを述べ、最終授業の際持参し、提出。最終授業で、レポートに基づいた発表を行う。		
授業スケジュール(展開計画)	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	講義:システムというものの見方	
	3	講義:コンテキストを把握する	
	4	講義:学校における相談構造と見立て	
	5	講義:対話の技法	
	6	講義:システムズコンサルテーションの技法	
	7	シナリオロールプレイ(学校への苦情)	
	8	シナリオロールプレイ(学校での相談1)	
	9	シナリオロールプレイ(学校での相談2)	
	10	シナリオロールプレイ(学校での相談3)	
	11	シナリオロールプレイ(学校での相談4)	
	12	模擬コンサルテーション1	
	13	模擬コンサルテーション2	

	14	模擬コンサルテーション3
	15	まとめ (レポートの提出)
授業のキーワード		
受講補足(履修制限等)	臨床心理面接実習Ⅰの受講は、原則として臨床心理士・学校心理士補資格取得希望の学生に限る。	
その他	実習という授業の性質上、基本的に欠席は認めない。やむをえない事情で欠席する場合は、必ず連絡をすること。	






## シラバス参照

タイトル「2014年度 教育学研究科シラバス」、フォルダ「2014年度 教育学研究科シラバス-学校心理専攻」

シラバスの詳細は以下となります。

ナンバリングは科目コードとは異なります。ご注意ください。

### ナンバリングとは



科目コード	12111050		
科目名	臨床心理面接実習Ⅱ(a)		
担当教員	大河原 美以		
対象学年	1年	クラス	01
講義室		開講学期	秋学期
曜日・時限	木5	単位区分	選択
授業形態	一般講義	単位数	2
受講対象	学校心理専攻学校心理コース学校心理専攻開設科目、学校心理専攻臨床心理コース学校心理専攻開設科目		
備考			
ナンバリング			
ねらいと目標	臨床心理士になるために必須の、基礎的でありながらも高度な面接技術の習得のための訓練を行う。それを通して、面接場面での逆転移などへの気づきと自己理解を深め、専門家としてのアイデンティティを身に着ける。		
内容	学生同志でカウンセリング場면을構成し、ビデオで撮影して、フィードバックを行いながら、相談の見立て、インテークの仕方、面接の流れの構成の仕方などを実践的に学習する。		
テキスト	使用しない		
参考文献	特に指定しない。		
成績評価方法	臨床の専門家になるための訓練に対する意欲・学びへの態度90%、及び適性10%を評価する。カウンセリング実習においてカウンセリングがうまくできたかできなかったかということは評価の対象ではない。体験を通しての学びに向き合う姿勢を重視する。		
授業スケジュール(展開計画)	回	内容	
	1	面接技法の基礎学習:自己理解を深めるためのワーク1	
	2	面接技法の基礎学習:自己理解を深めるためのワーク2	
	3	ピアカウンセリング実習1:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ1	
	4	ピアカウンセリング実習2:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ2	
	5	ピアカウンセリング実習3:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ3	
	6	ピアカウンセリング実習4:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ4	
	7	ピアカウンセリング実習5:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ5	
	8	ピアカウンセリング実習6:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ6	
	9	ピアカウンセリング実習7:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ7	
	10	ピアカウンセリング実習8:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ8	
	11	ピアカウンセリング実習9:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ9	
	12	ピアカウンセリング実習10:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ10	
	13	ピアカウンセリング実習11:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ11	
	14	ピアカウンセリング実習12:クライアント体験(カウンセラー体験)のロールプレイ12	
	15	まとめ	
授業のキーワード			

受講補足(履修制限等)	臨床心理面接実習Ⅱの受講は、原則として臨床心理士資格取得希望の学生に限る。
その他	実習という授業の性質上、基本的に欠席は認めない。やむをえない事情で欠席する場合は、必ず連絡をすること。

